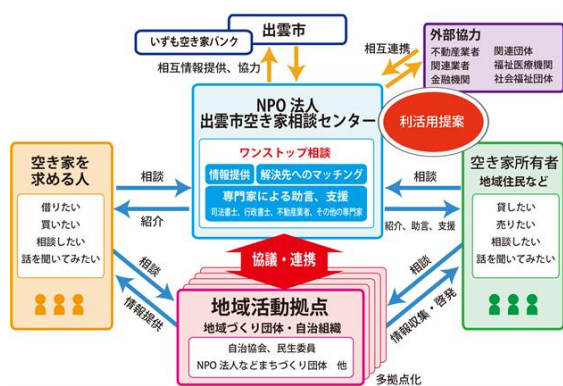


課題と目的	空き家問題を解決に結びつけるコーディネーターを育成するとともに、空き家問題、高齢化問題に取り組む個人・団体を結びつけ、問題解決に向けた体制を形作るために『出雲市空き家相談センター』及び『地域活動拠点』の整備・活動支援を行う。この取り組みにより、包括的に空き家問題を解決に導くシステムを構築し、空き家の発生抑止と減少につなげる事を目的とする。
取組内容	①空き家相談センターの整備 ②地域活動拠点の整備・支援 ③相談者と解決機関をマッチングさせるコーディネーター育成 ④空き家に対する問題意識の醸成
成果	①「NPO法人出雲空き家相談センター」の設立 ②地域活動拠点「NPO法人シャーン・エレーテ今市」の事業変更 ③相談受付マニュアルの整備 ④啓発パンフレットの配布、シンポジウム・相談会・セミナーの開催

出雲市空き家相談センターの仕組み



【取組の特徴】

- 2種類（2部門）の相談員（コーディネーター）育成すること
- ・相談者と解決機関をマッチングさせる相談員（空き家縁結びコーディネーター）の育成
 - ・地域活動拠点との連携や活動・立ち上げ支援及び拠点の多角化を行う相談員（セットアップマネージャー）の育成

■ センター設立と地域活動拠点の整備を同時進行
NPO法人を設立し、空き家所有者の抱える問題解決や活用方法についての総合的な相談センターとして『出雲市空き家相談センター』を整備すると同時に、市内の各地区の実情に合わせた地域活動拠点整備実施（現在2拠点、目標43拠点）

空き家相談センターの相談受付マニュアル



啓発パンフレットの作成・配布
地域住民および関係窓口に配布

■「終活セミナー」開催
空き家の発生抑止を主眼に、家や相続のことがらについての啓発を目的

将来空き家とならないように、現在お住まいの方を対象とした

参加者：22名

■「空き家相談会」開催
主に法律実務の観点から専門家による相談会を地域活動拠点にて開催

空き家を所有されている方、空き家に隣接してお住まいの方を対象とした

参加者：31名



■「空き家対策シンポジウム」開催

空き家に対する問題意識の醸成と空き家相談センターのPRを目的に開催
現在市に無い立地適正化計画の必要性を基調として空き家活用を

参加者：92名

